

## ファナック株式会社 2022 年度 第 1 四半期決算説明会(電話会議) 質疑応答要旨 (2022 年 7 月 27 日開催)

**Q. 半導体不足や中国のロックダウンにもかかわらず、2,116 億の売上高を達成した背景、および利益率が伸び悩んでいる背景について教えてください。**

A. ほぼ当初の見通し通りの売上を上げられたことは、部品の納期交渉や設計変更を含めた代替品の採用を地道に行ってきたことに尽きます。中国のロックダウンに際しては現地の合併会社の努力などにより売上への影響を出来るだけ抑えられました。一方で、中国のロックダウンによるサプライチェーンへの影響があり、部品入手に苦労したことも確かです。

利益率につきましては、部品費や船便の値上がり等が影響しています。部品費の値上がりや輸送費の高騰につきましては、お客様に丁寧にご説明し、価格転嫁をご了解いただくことを地道に行っています。

**Q. 半導体不足が解消してきたという話が増えていますが、1Q で売上高が拡大する要因になったのでしょうか。**

A. 確かに半導体の入手が以前よりも良くなっていると感じる面もありますが、やはり相変わらず苦しいということとはそれほど変わっていません。当社は組立型産業ですので何か一つ足りなくても、それに引っ張られ全体で見ると決して安心できる状況にはありません。引き続き調達、設計変更を含めた生産継続に全力を挙げていることは全く変わっておりません。

**Q. 1Q の中国の FA とロボットの動向を教えてください。FA の減少は一時的でまた戻ってくるのでしょうか？ロボットは中国に限らず好調に見えますが、背景は何でしょうか？**

A. FA の受注減少は、注残が溜まってきたことが大きく、一時的に落ち着いていると理解しています。また、中国のロックダウンにより、受注・売上に少し停滞が見られた点も作用しているかと思います。ただ、現地での機械の需要はそれほど変わっていませんので、当社としてはこの大量の注残を何とか 1 台でも売上につなげるべく生産に励んでいる状況です。

ロボットについて非常に受注が多いという状況は変わっておりません。中国のロックダウンがありましたが、ロボット受注への影響は、あったとしても、あまり目立たないレベルだったと思っています。引き合いは、自動車、自動車部品、一般産業の全てが好調です。自動車部品では今はバッテリー関係がかなりのウエイトを占めています。また、IT 関係、プリント板関係、太陽光発電など様々な分野で堅調です。中国以外の地域も受注は好調ですので、いかに能力を増強し、1 台でも多く生産し、売上につなげるかが当面の課題です。

**Q. 中国での FA の最終需要先は EV やバッテリーなののでしょうか？FA の受注が一時的な落ち着きとすると、在庫調整など懸念すべきことはありますか？**

A. 中国での工作機械の需要先は、特にロックダウンの前後で変わりがなく、自動車、自動車以外、半導体関係など、様々な用途において引き続き堅調な需要が続いているという認識です。在庫については、現地での機械需要が旺盛ですので、当社が CNC を供給できれば現地で工作機械がさらに出

荷されると理解しています。

**Q. 1,000 億程度のロボット受注が続くと、以前の説明会で述べていた約 1.5 倍の生産能力では足りない状況なのでしょうか？**

A. 今ある建屋で設備を増やしたり、効率を上げたりすることで、四半期で 1,000 億程度の受注であれば対応できるだろうと思っています。ただ、今後、仮に年率 10%で伸びた場合には生産能力が何れ不足することは明白ですので、建屋を含めた大幅増をしていく必要があります。既存建屋で月産 11,000 台であった生産能力を月産 14,000 台まで増やせる目途が立ち、進めている最中です。それでも足りないため、色々工夫し、月産 16,500 台ぐらいまでは既存建屋で何とかしたいと考えています。ただし、これで耐えられるのはそれほど長くありませんので、その先を見越して、建屋を含め色々と計画を練っている最中です。

**Q. 協働ロボット CRX について、新しい戦略によってシェアを上げている、またはお客様を囲い込むことができているなどの事例があれば紹介してください。**

A. CRX のシリーズ化が完了しましたので、今まで以上に拡販に取り組んでいます。CRX に限らず、私どものロボットは信頼性が高く、トータルコストで考えると非常に競争力があることを訴求しています。ロボットの信頼性を上げて、お客様が生産性を落とさず、最大の効率できちんと利益を上げていただくことが大事だと思っています。お客様が何を求めているかを考えますと、やはり信頼性の高いところ、メンテナンスフリーだろうということで注力しています。

私どもは協働ロボットでは後発ですが、評価いただいている大きな理由は、信頼性の高さと保守サービスの良さです。信頼性がいくら高くても全く壊れないということはありませんので、万一壊れた場合の保守サービスにも注力しています。ここが差別化要因だと思っています。もう一つは、使いやすさです。協働ロボットの新しいユーザインターフェースは使いやすいという声をたくさん頂いています。これら 3 点が、協働ロボット CRX シリーズが伸びている要因と考えています。

以上

本資料に含まれている将来に関する見直しには、市場における製品の需給動向、競合状況、経済情勢その他に不透明な面があり、実際と異なる可能性があることをご承知お願います。